福井県社会福祉協議会
アクションレポート

令和５年８月 21 日　№10

社会福祉法人　福井県社会福祉協議会　総務企画課
〒910-8516　福井市光陽２丁目 3-22
TEL 0776-24-2339 ／ FAX 0776-24-8941 ／ E-mail　somu@f-shakyo.or.jp

このアクションレポートは、本会の主な事業等の進捗を定期的にお知らせするために、役員および関係機関向けに発行させていただくものです。

Contents

✔ よかったら食べての～《フードパントリーＴＡＢＥＴＥＮＯ》
✔ 令和５年７月の大雨災害で勝山市災害ボランティアセンター開設
✔ 公式 Instagram はじめました！
✔ 約 400 名が４年ぶりに集合！「福井県保育研究大会」
✔ 介護実習・普及センター業務が嶺南支所に移管!!
✔ タイ人技能実習生（第３期生）の受入れ
✔ 外国人介護人材受入れ支援セミナー＆情報交換会を開催
✔ 子ども未来支援事業、福井県まごころ基金助成先決定！
✔福祉、保育合同で初めて開催　就職フェア

よかったら食べての～《フードパントリーTABETENO》

基本目標１
社会的孤立を生まない
地域づくり

基本目標４
新たな課題に取り組む
組織・ネットワークづくり

５つのチャレンジ①
子どもの貧困・貧困の連鎖
をなくす取組み強化

関連するＳＤＧｓゴール

６月 24 日（土）、本会と福井県企業等ボランティア・社会貢献連絡会（通称：Ｆパネット）との共催により、フードパントリーTABETENO を開催しました。

新型コロナが２類から５類へ移行し、社会活動が以前の姿に戻りつつある中で、改めて地域でのつながりづくりの必要性が増しています。どのような環境であっても、誰も取り残されることのない地域共生社会を実現していくため、地域の居場所づくりに取り組む子ども食堂やひとり親家庭等への食料支援を通じて、つながりの再構築を図るとともに、Ｆパネット会員企業等の社員がボランティアとして参加することを通じて、食料支援をはじめとする地域課題について直接肌で感じていただくことにより、地域共生社会実現に向けた社会貢献のあり方を考えるきっかけとしていただくことを目的に開催しました。

当日は、Ｆパネット会員企業の社員や大学生、高校生等のボランテイア総勢 45 名の協力のもと、県内の子ども食堂、ひとり親家庭、児童養護施設を退所後の若者、一人暮らし学生等へ食料品セット 1,000 セットを配布しました。

今回はフードバンク愛知からの食品の提供がありましたが、今回をきっかけに、県内での食料支援の輪を広げられるよう取り組みを進めてまいります。

令和５年７月の大雨災害で 勝山市災害ボランティアセンター開設

７月 12 日からの大雨により、嶺北の各地で土砂崩れや家屋への浸水被害などが相次ぎました。本会は嶺北の１１市町の社会福祉協議会に被害状況と災害ボランティアセンター（ＶＣ）の開設等について聴き取りをするとともに、特に被害の大きかった勝山市に職員２人を先遣隊として派遣しました。

勝山市では 15 日に災害ＶＣが開設され、17 日までの３日間で計 10 件のニーズを把握。延べ 158 人のボランティアが、被災家屋の泥のかき出し作業などに当たりました。

本会と近隣の大野、坂井、福井の各市社協では、延べ 12 人の職員を派遣し、災害ＶＣの運営を支援しました。

勝山市社協は災害ＶＣの閉所後も通常のＶＣに業務を移行して、被災した住民からの相談に引き続き対応しています。

基本目標１
社会的孤立を生まない地域づくり

基本目標３
制度の狭間を生まない包括的支援体制づくり

５つのチャレンジ⑤
災害時福祉救援体制の強化

関連するＳＤＧｓゴール

公式 Instagram はじめました！

福井県ボランティアセンターでは、若い世代に届く情報発信、若い世代同士でボランティア活動を発信する仕掛けづくりを行い、PR 活動やボランティア体験、講座などの情報を発信することを目的に、公式 Instagram をはじめました。

また、本センターでは、県民の皆様のボランティア活動への関心を高め、活動をはじめるきっかけづくりとして、福祉施設等で体験できるボランティア活動に関する情報提供とコーディネートを行う『ボランティア体験 2023』を実施しています。

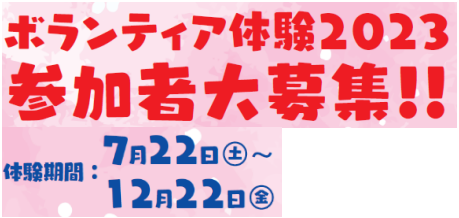
本体験事業は、小学生高学年以上の一般県民が対象であり、150 を超えるプログラムの中から活動・日程を自由に選んでボランティアに参加することができます。

ボランティア活動のきっかけづくりとなるよう、最大限の努力を行ってまいります。

基本目標１
社会的孤立を生まない地域づくり

５つのチャレンジ①
子どもの貧困・貧困の連鎖をなくす取組み強化

関連するＳＤＧｓゴール



LUNTEE_FUKUIKEN_VC

公式インスタは
こちらから！

約 400 名が４年ぶりに集合！「福井県保育研究大会」

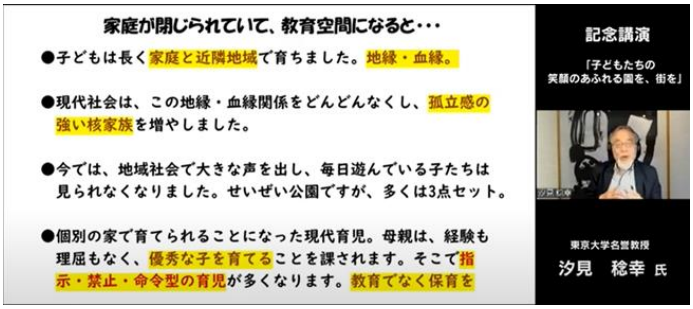
基本目標 3
制度の狭間を生まない包括的支援体制づくり

関連するＳＤＧｓゴール

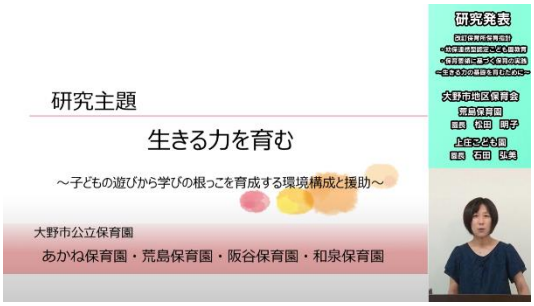
「第 62 回福井県保育研究大会」の分科会を６月 11 日(日)にあわら市内にて開催し、全体会を６月 20 日(火)～30 日(金)まで YouTube にて配信しました。県内の保育関係者約 400 名が教育・保育、子育て支援などに関する様々な課題について学びを深めました。

分科会は４年ぶりの集合研修で、あわら市内の各こども園を会場として開催しました。

全体会では大野市地区保育会が研究発表を行い、記念講演では、東京大学の汐見稔幸名誉教授が「子どもたちの笑顔あふれる園を、街を」をテーマに、子どもを主体に丁寧で温かい保育を行うことで、子どもの表現力と自己肯定感が大きく伸びること等について、具体例を交えてご教示いただきました。



最後に読み上げた大会宣言では、教育・保育の質の向上に向けた決意を参加者全員で確認し、明日からの実践に向けて気持ちを新たにしました。



介護実習・普及センター業務が嶺南支所に移管!!

基本目標 2
地域と福祉を支える担い手づくり

５つのチャレンジ③
福祉・介護で働く在日外国人への支援

関連するＳＤＧｓゴール

組織再編に伴い令和５年４月１日より、嶺南支所（小浜市･白鬚ビル内）が福井県介護実習・普及センター業務を担っています。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、研修受講の機会が減少していましたが、収束に伴い、研修活動も再開の兆しが見られてきました。

介護技術向上研修は、引き続きオンライン開催とし、訪問指導研修や出前講座は、講師が出向き直に学ぶことができます。

今後も介護事業所の要望に応え、福祉を支える担い手づくりに取り組んでいきます。

○介護技術向上研修　年間 18 回開催予定
　７月末現在開催数５回　受講者数 115 名
○介護職員等訪問指導研修　開催数 11 事業所
○介護出前講座　開催数　２回

タイ人技能実習生（第３期生）の受入れ

タイ人技能実習生（第３期生）７名が６月９日に入国し、約１か月の入国後講習を経て、７月 13 日から県内の介護事業所４か所で実習をスタートさせました。これから３年間、それぞれの介護現場で福井の介護技術を学びます。

今回の実習生のうち３名は、タイの高校（バーンガオ高校、カンチャナヌクロ高校）と連携し、高校のカリキュラムの中で福井県が独自に日本語教育を行った初めての実習生です。今後も、タイの複数の教育機関や送出機関と連携し、実習生の確保に努め、安定した受入れ体制の強化を図ってまいります。

基本目標２
地域と福祉を支える
担い手づくり

５つのチャレンジ③
福祉・介護で働く在日
外国人への支援

関連するＳＤＧｓゴール

タイ人技能実習生受入れ実績（予定）

	入国年月	受入先	備　考
1 期生(6 名)	R4.4	3 事業所	初の技能実習生受入れ
2 期生(8 名)	R4.9	5 事業所	プラティープ財団との連携による育成者受入れ（初）
3 期生(7 名)	R5.6	4 事業所	現地高校と連携した教育による育成者受入れ（初）
4 期生(6 名)	R5 秋予定	3 事業所	現地で必要な教育を受講中
5 期生(未定)	R6 春予定	募集中	今秋面接会実施予定

外国人介護人材受入れ支援セミナー＆情報交換会を開催

ふくい外国人介護職員支援センターは、７月 24 日（月）、福井県社会福祉センターにおいて、外国人介護人材に関する受入れ制度や送出国の状況、県社協の取組み説明、および外国人材を受け入れている施設の事例を紹介するセミナー＆情報交換会を開催しました。

当日は、既に外国人材の受入れ実績のある施設や現在受入れを検討中の事業所等、計８事業所 11 名が参加しました。

情報交換会では、２グループに分かれ、職場体制づくりや雇用条件、宿舎の確保、生活支援等について、各事業所での取り組み状況の紹介や活発な意見交換がなされました。

今後も定期的にセミナーを開催するなど、介護現場において不可欠な存在になりつつある外国人材受入れについて、受入側の不安解消や理解促進に取り組んでいきます。

基本目標２
地域と福祉を支える
担い手づくり

５つのチャレンジ③
福祉・介護で働く在日
外国人への支援

関連するＳＤＧｓゴール

子ども未来支援事業、福井県まごころ基金助成先決定！

基本目標 1
社会的孤立を生まない
地域づくり

基本目標 2
地域と福祉を支える
担い手づくり

5 つのチャレンジ②
ひきこもり・8050 問題への
理解促進と支援の輪づくり

関連するＳＤＧｓゴール

【子ども未来支援事業「子ども食堂等への助成」】

「子ども未来支援事業」は、松原ふれあい基金や子ども未来応援バンクを活用し、地域における子どもの健やかな育ちや自立を支援するため、子どもの居場所づくりに取り組む団体や社会的養護児童の自立支援に対して助成する事業です。

そのうち、子ども食堂等の立ち上げ助成として、平成 28 年度から昨年度までに、計 14 団体に助成を行ってまいりました。

今年度は、２団体に各 200,000 円の合計 400,000 円の助成が決定しました。

【令和５年度（第 33 回）福井県まごころ基金助成事業】

県内篤志家からの寄付金を運用し、県内の民間福祉団体等が実施する様々な社会福祉活動等に対して支援を行うことにより県内の地域福祉を推進するもので、平成３年以来、のべ 984 団体に対して合計１億７千万円を超える助成を行ってまいりました。

今年度は、11 団体に合計 2,646,000 円の助成を決定しました。

本会では、基本理念である「誰もが 身近な地域で その人らしく安心して暮らせる　福祉社会の実現」に向け、民間福祉団体等の創意工夫ある活動や地域に密着したきめ細かな活動に、助成というかたちでお手伝いしています。

これらの事業を通じて、多様な団体が地域でそれぞれ得意とする活動を行うことにより、支え合いと活気のある地域社会を目指すシステムづくりに取り組みます。

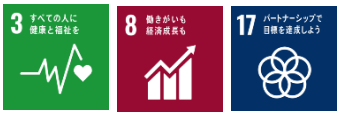
福祉、保育合同で初めて開催　就職フェア

福井県福祉人材センターおよび福井県保育人材センターでは、７月８日（土）、福井県産業会館で福祉分野の仕事の魅力発信や、県内福祉施設等と求職者との就職マッチングの機会を創出することを目的に、「ふくい福祉・保育就職フェア」を開催しました。

例年は福祉と保育フェアを別々に開催していましたが、１ヶ所に集めることでフェアを盛り上げ、両分野のイメージアップを図るため初めて合同で開催しました。

福祉人材センターおよび保育人材センターでは、今後も就職フェア等の各種事業を通じて、福祉の仕事の理解促進を図るとともに、福祉・介護・保育サービスを担う人材の発掘・確保に取り組んでいきます。

基本目標２
地域と福祉を支える担い手づくり
関連するＳＤＧｓゴール



福祉および保育の職場説明・面談会

	参加法人数	参加者数
第１部（福井、奥越地区）	80 法人	121 名
第２部（坂井、丹南、二州、若狭地区）	58 法人	74 名
合計	138 法人	195 名

※二州、若狭地区は児童分野のみ。

県社協から
ご案内

【福祉の仕事窓口相談・移動相談】

福井県福祉人材センター・嶺南福祉人材バンクでは、窓口でのお仕事相談のほか、定期的に移動相談を行っています。福祉の仕事にご興味ある方、どうぞご利用ください。

● 窓口相談

地区	場　所	日程・時間
嶺北	県社会福祉センター1 階 福祉人材センター／福井市光陽 2 丁目 3-22 TEL0776-28-3180	月～金曜日 9～17 時 【夜間相談】※予約制 毎月第 2・4 木曜日 17～20 時
嶺南	白鬚再開発ビル 3 階 嶺南福祉人材バンク無料職業紹介所／小浜市小浜白鬚 112（嶺南支所） TEL0770-52-7833	月～金曜日 9～17 時

● 移動相談

地域	場　所	日程・時間
福井市	ハローワーク福井／福井市開発 1 丁目 121-1	第 4 水曜日　13 時 30 分～16 時
坂井市	ハローワーク三国／坂井市三国町覚善 69-1	第 1 水曜日　13 時 30 分～16 時
大野市	ハローワーク大野／大野市城町 8-5	第 4 金曜日　13～16 時
越前市	ハローワーク武生／越前市府中 1 丁目 11-2	第 2 火曜日　13～16 時
敦賀市	ハローワーク敦賀／敦賀市鉄輪町 1 丁目 7-3	第 3 火曜日　10～12 時
小浜市	ハローワーク小浜／小浜市後瀬町 7-10	第 3 水曜日　13～15 時